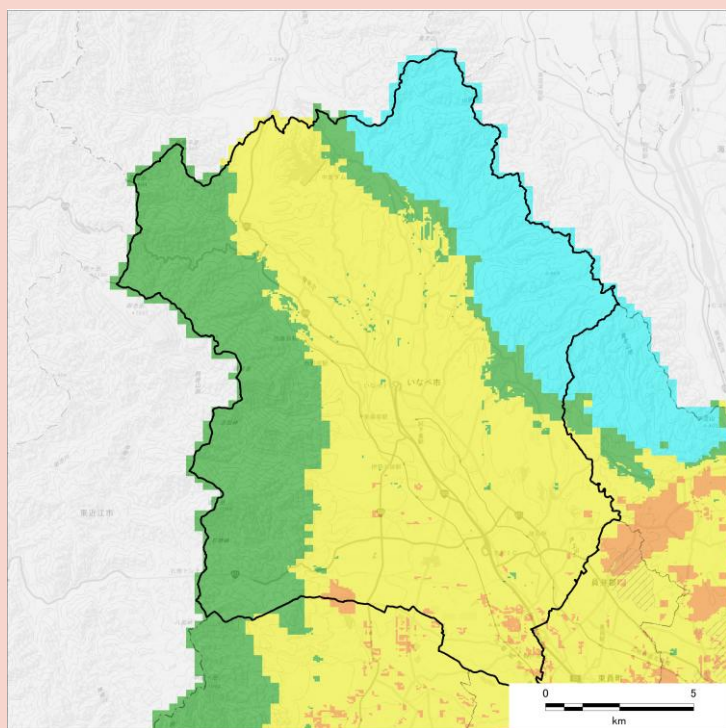


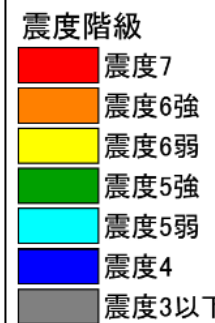
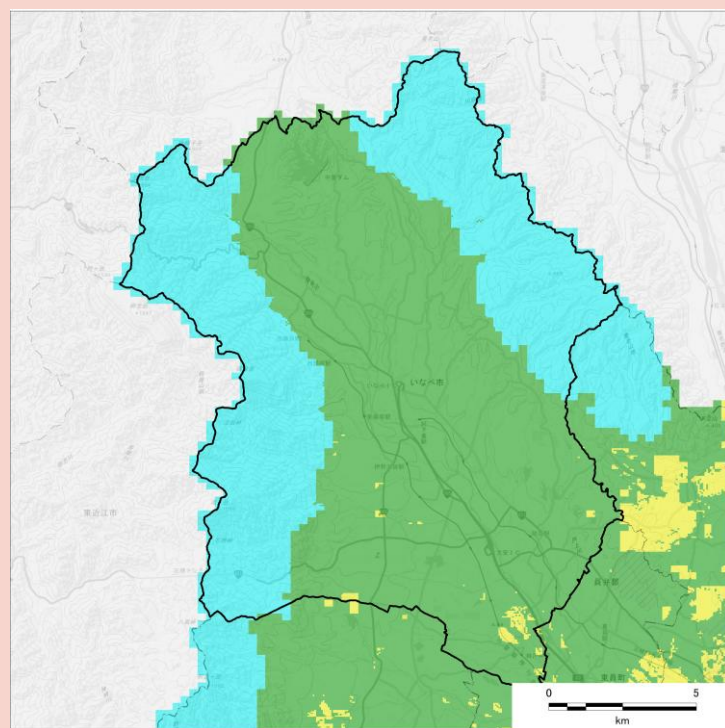
1. ハザード評価

(1) 地震動

【L2】理論上最大クラス



【L1】過去最大クラス



<震度別面積割合>

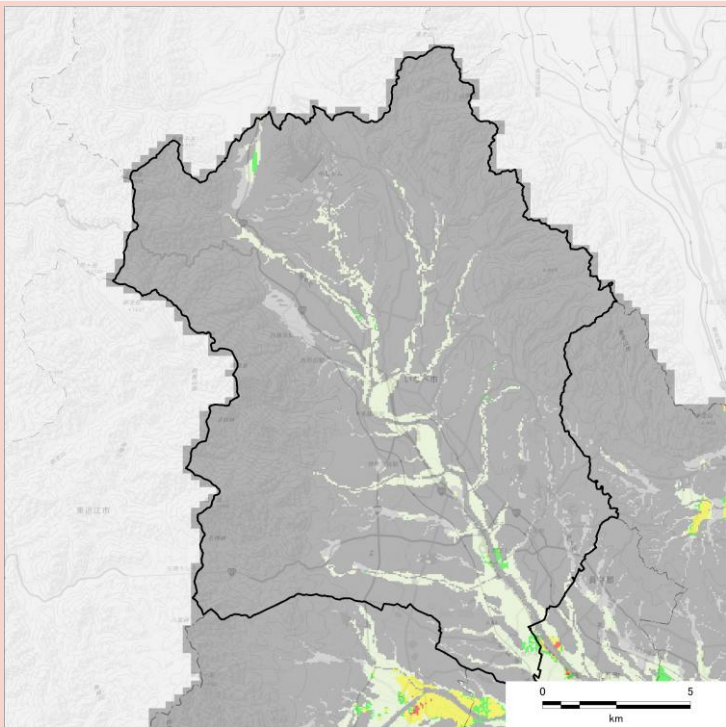
(参考) 総面積 = 219.8km²

震度階級	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km ²)	割合	面積 (km ²)	割合
7	0.0	0%	0.0	0%
6強	2.0	1%未満	0.0	0%
6弱	118.3	54%	1.1	1%未満
5強	62.6	29%	132.0	60%
5弱	36.9	17%	86.7	39%

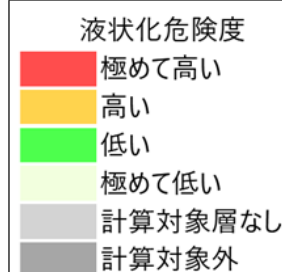
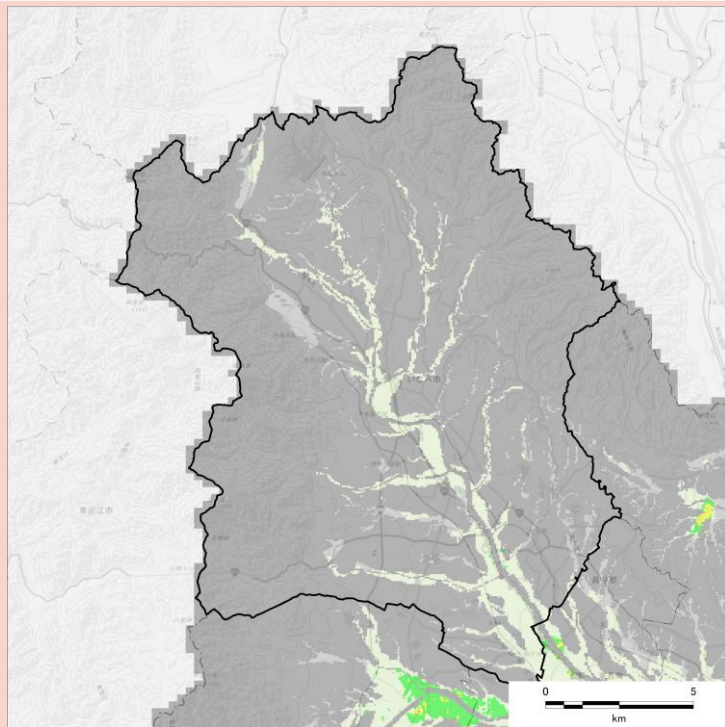
※震度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

(2) 液状化

【L2】理論上最大クラス



【L1】過去最大クラス



<液状化危険度別面積割合>

(参考) 総面積 = 219.8km²

液状化危険度	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km ²)	割合	面積 (km ²)	割合
極めて高い	0.0	0%	0.0	0%
高い	0.0	0%	0.0	0%
低い	0.5	1%未満	0.0	0%
極めて低い	15.0	7%	15.5	7%
計算対象層なし 計算対象外	204.3	93%	204.3	93%

※液状化危険度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

2. リスク評価

(1) 人的被害

※季節・時間帯：冬・深夜

(2) 建物被害

※季節・時間帯：冬・夕方

(3) 火災被害

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
死者数（人）	約20	-
うち建物倒壊等	約20	-
うち津波	-	-
うち急傾斜地崩壊等	-	-
うち火災	-	-
うちブロック塀 ・自動販売機転倒 および屋外落下物	-	-
重傷者数（人）	約60	-
軽傷者数（人）	約500	約50
建物倒壊等による 自力脱出困難者数（人）	約100	-
津波被害による 要救助者数（人）	-	-
津波被害による 要搜索者数（人）	-	-

定量評価項目	L2	L1
全壊・焼失棟数（棟）	約700	約20
うち揺れ	約600	約20
うち液状化	-	-
うち津波	-	-
うち急傾斜地	約20	-
うち火災	約70	-
半壊棟数（棟）	約2,400	約300
うち揺れ	約2,400	約300
うち液状化	-	-
うち津波	-	-
うち急傾斜地	約40	-
ブロック塀等の 転倒数（件）	約200	-
自動販売機の 転倒数（件）	約20	-
屋外落下物の 発生数（件）	約30	-

定量評価項目	L2	L1
炎上出火件数（件）	-	-
残火災件数（件）	-	-
津波火災発生件数（件）	-	-

概観（理論上最大クラス）

【ハザード評価】

県内の沿岸市町と比べて地震動は小さいものの、広い範囲で震度6弱以上となります。

【リスク評価】

理論上最大クラスでは、揺れによる建物の全壊や火災による焼失被害が発生し、古い家屋を中心に建物の倒壊等による死傷者や自力脱出困難者が発生します。

※「-」：わずか（5未満）

※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。